

検証項目 2 本市の建設業界の動向を踏まえ、新庁舎の工事単価の妥当性等について検証する

【第 1 回検証委員会の意見及び意見を踏まえた整理】

第 1 回検証委員会での意見を受け、**工事費を構成する項目等の分析**や、九州での建設需要等を把握している**施工会社ヒアリング**を行い、市の単価設定の考え方の妥当性を検証する

主な意見

- 基本計画段階で仕様が固まっていないため、単純に他都市との比較は困難
ただし、「首都圏の単価をそのまま採用」が妥当かについては検証の余地がある
- 全体の単価（118万/㎡）ではなく、躯体や内装、設備などに分けた上で整理を行う
- 検証にあたり、九州での建設需要等を把握しているゼネコン等ヒアリングを行う



- 1) 品川区新庁舎の予定価格を工事種別ごとに整理し、分野別の概算割合を分析
- 2) 建築、機械、電気の各工事種別における労務単価・資材単価の地域格差の傾向を整理
- 3) 建設会社（完工高上位5社）、設備会社（完工高上位3社）を対象にヒアリングを実施
 - ・九州、熊本における今後5年から10年程度で見込まれる国や民間での建設需要の見通し
 - ・新庁舎の工事規模に対する県外からの労働者確保の必要性
 - ・本市新庁舎の単価として、首都圏の類似事例の単価をそのまま採用することの妥当性
 - ・想定工期の短縮の可能性